

[タイム] クソハナ沢出合(12:00)→遡行終了(12:30)→踏跡(13:20)

デトサネ沢

1983年8月20日

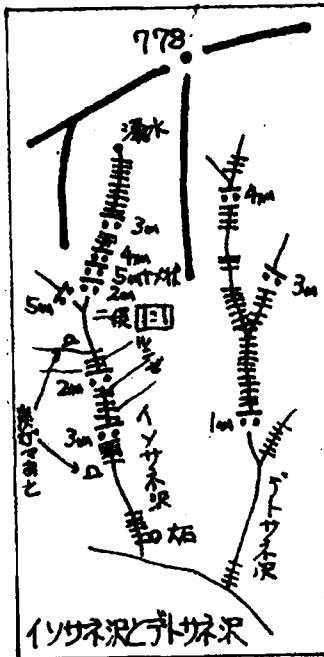
778₂独標から少し下るとデトサネ沢の源頭であった。10時55分下降開始。デトサネ沢の方は概して平凡。ナメが断続的にでてくるだけで、滝といえるようなものもなく、観音堂沢本流に出てしまった。わずか30分の下りであった。

[タイム] 下降開始(10:45) →観音堂沢本流(11:20)

イソサネ沢

1983年8月20日

沢の大きさ、規模からいってあまり期待はもてないが、県境になっているということで、なぜか気になっていたイソサネ沢を目指して、いつものように戸上向の空地に車を置いて出発。1時間程歩いてから、クソハナ沢



を下降して観音堂沢本流に降り立つ。今日の観音堂沢は、台風5号による大雨の影響がまだ残っていて、水量も多く、水の流れも早い。こんな時には、いつも簡単に通過してしまうナメが意外と通過困難な場所に変っている。30分程かかってイソサネ沢出合に到着した。

10:00出合発。すぐV字に切れこんだ沢筋となり、ナメとなる。左右からは何本ものルンゼが合流してくる。やがて二俣。右俣に入る。小滝がかかり、ナメも急峻となってきた。やがて源流。水源は冷たい清水であった。

追記：イソサネ沢に入るため踏跡をたどっている途中、サクラバシ沢のあたりで野猿の群れに出会った。私の視野に入ってきたのは2頭のみであったが、泣声や物音の具合からいって相当数がかなりの範囲に散らばっていた

ようだ。茂庭にはかなりの猿が住んでいる。(1)

[タイム] 出合(10:00)→進行終了(10:25)

シラカネ沢

1983年7月10日

Lj

烏川林道のゲート前に車を置き、シラカネ沢に向けて林道を歩く。黒滝沢の100m程手前で烏川に下降し、ワラジをつけて対岸のシラカネ沢出合まで渡渉する。

8:15遊行開始。出合から沢は階段状となっている。15分程で10mの滝にぶつかるが、右岸を直登することができる。その上は河原となり、10分程歩くと2m程の滝が連続して出てくる。

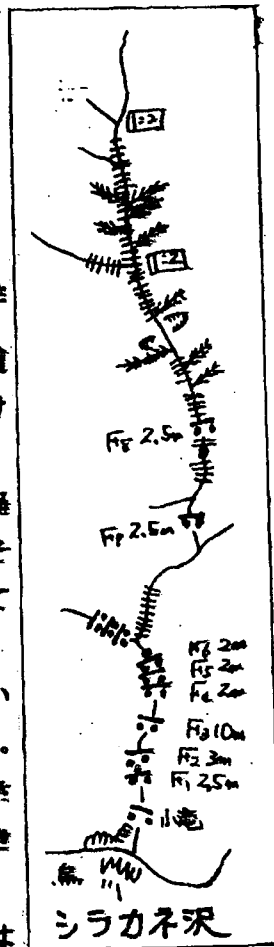
次に右岸から支流が入る。階段状の滝となって合流している。水量比は5:1。階段状の滝となって合流する。先に進む。

5分程歩き、2mちょっとの斜瀑を乗り越し、カーブをきると広い河原に出る。ここで沢は2つに分かれ、中州ができているが、左の方は途中で伏流となっている。

河原を過ぎ、小さな滝を越すと再び河原。そしてその先はナメとなる。ところどころ土砂がくずれていて、倒木も多く、歩きづらい所がある。

シラカネ沢に入って1時間50分、沢は細くなり、伏流となる。西沢の下降を予定しているの、左岸を登り、5分程で尾根に出る。(記)

[タイム] シラカネ沢出合(9:15)→進行終了(11:05)



西沢(下降)

1983年7月10日

L系

尾根から3分程で西沢に降りる。上部は見渡す限りナメである。2m程の小滝を確認してまずは昼食とする。